

【巻末資料】

ウミガメ類の上陸状況について

1. 鹿児島県全域及び奄美群島における上陸数との比較

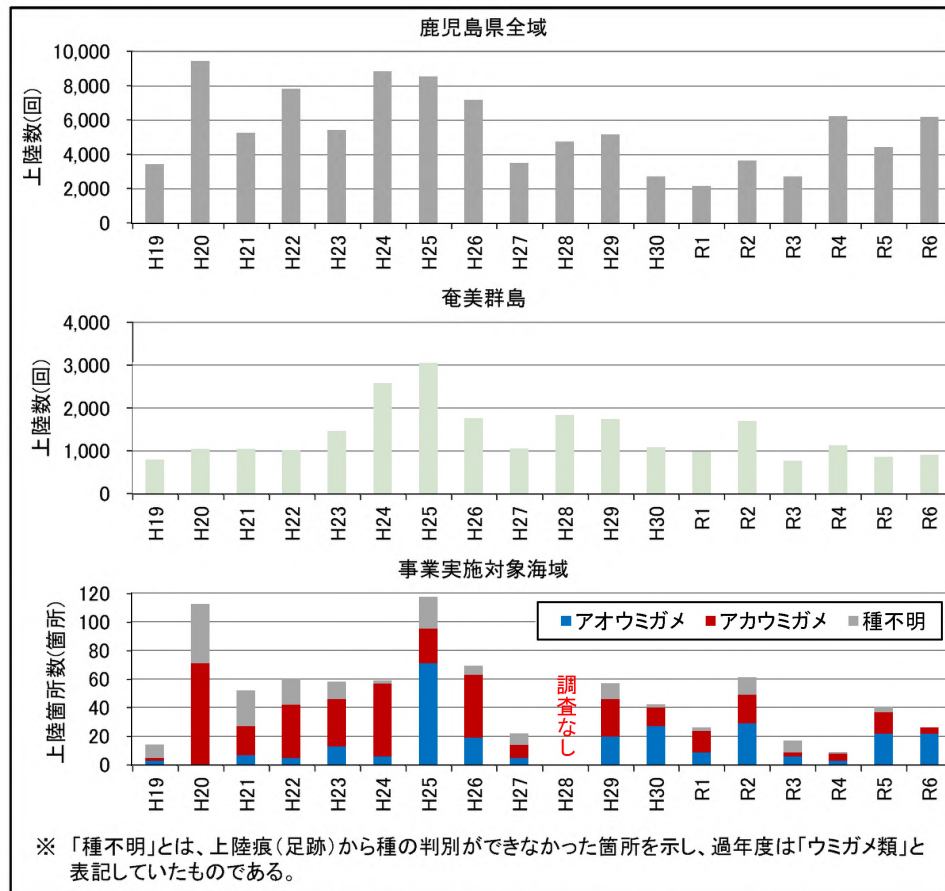
工事中における水の濁りについて

2. 降雨による影響と考えられた基準値超過確認日の
河川の河口付近(R1～R5)の状況
3. 大浦湾側における地点別の換算SS最大値と塩分の関係
4. 顕著な大雨の前後における水の濁り(換算SS値)と塩分の推移

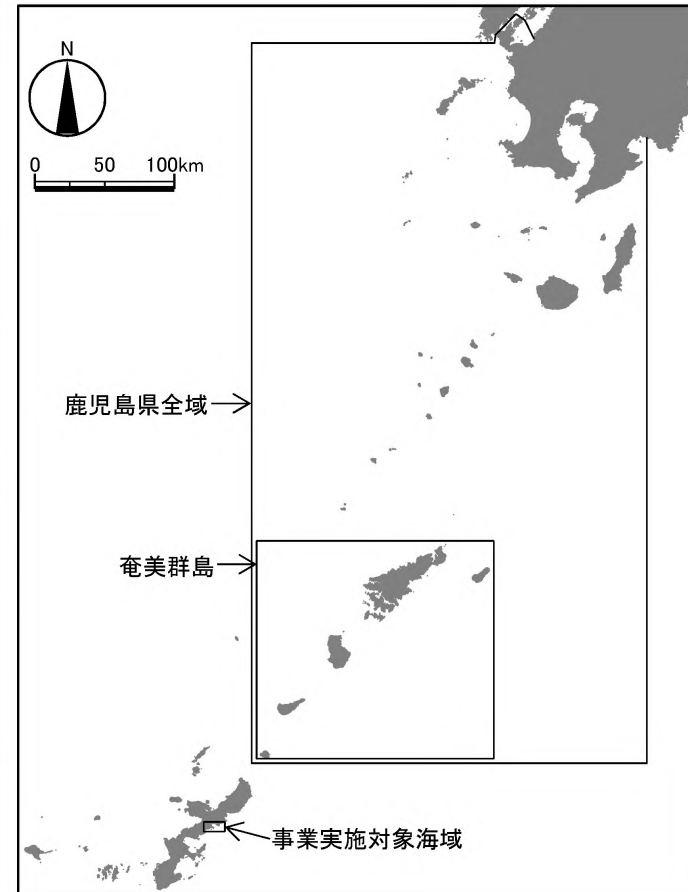
1. 鹿児島県全域及び奄美群島における上陸数との比較

鹿児島県全域及び奄美群島における上陸数との比較

- 事業実施対象海域と近隣の鹿児島県全域及び奄美群島における上陸数を比較すると、令和3年度までは上陸数の変動は概ね同様な傾向を示しており、事業実施対象海域に特有な傾向はみられなかったが、令和4年度は、鹿児島県全域及び奄美群島では令和3年度よりも増加したのに対して、事業実施対象海域では減少し、また、令和5年度は、鹿児島県全域及び奄美群島では令和4年度よりも減少したのに対して、事業実施対象海域では増加し、さらに、令和6年度は、鹿児島県全域及び奄美群島では令和5年度よりも増加したのに対して、事業実施対象海域では減少した。



鹿児島県全域及び奄美群島と事業実施対象海域におけるウミガメ類の上陸数の推移



調査位置図

2. 降雨による影響と考えられた基準値超過確認日 の河川の河口付近(R1～R5)の状況

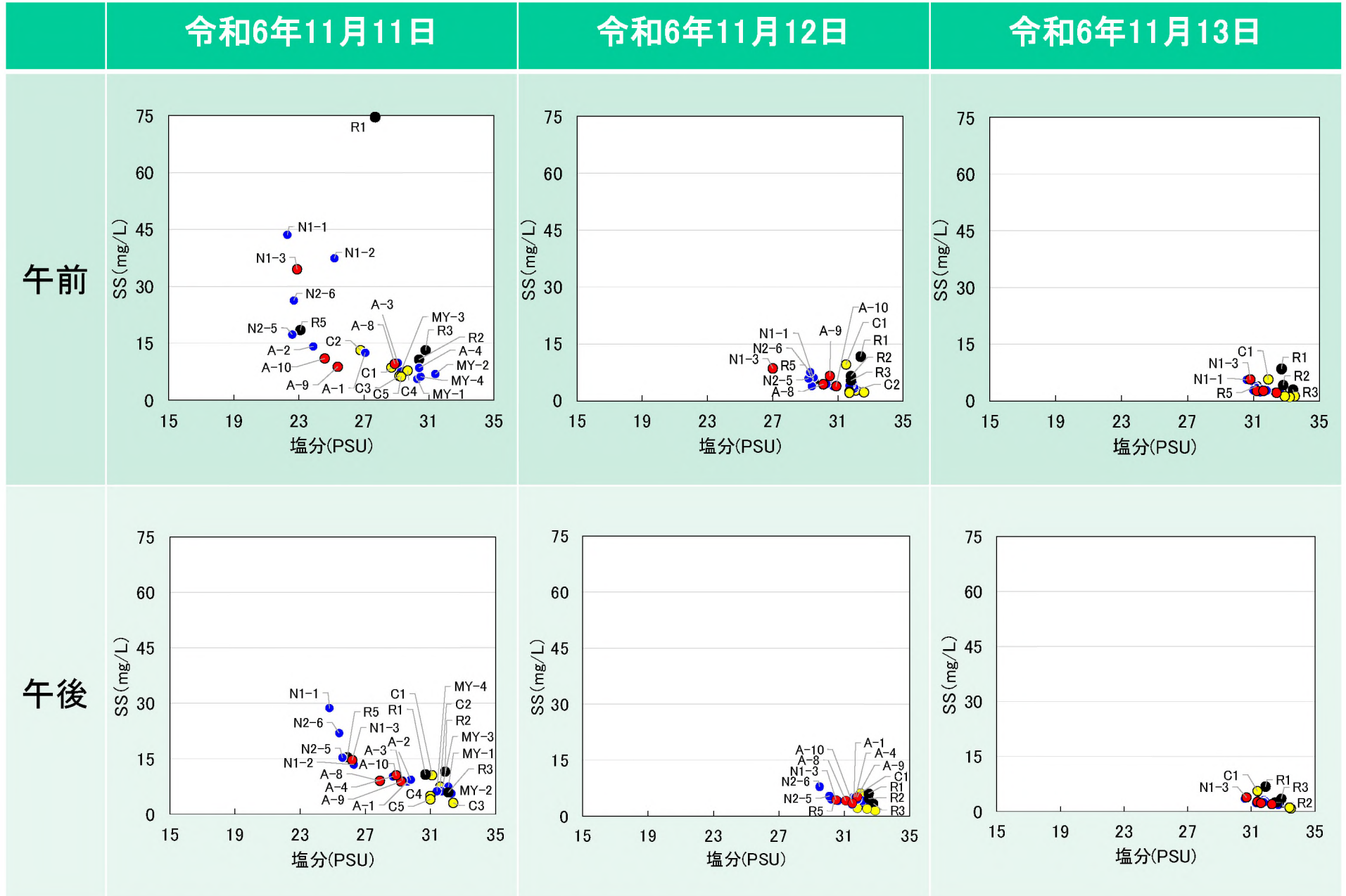
降雨による影響と考えられた基準値超過確認日(午後)の河川の河口付近(R1~R5)の状況

	11月11日	11月12日	11月13日	11月15日	11月16日	11月18日
R1						
R2						
R3						
R4					※ 米軍施設に関する情報を含んでいるため表示していません。	
R5	※ 米軍施設に関する情報を含んでいるため表示していません。					

※ 写真は、各調査日の午後調査時の状況を示す。

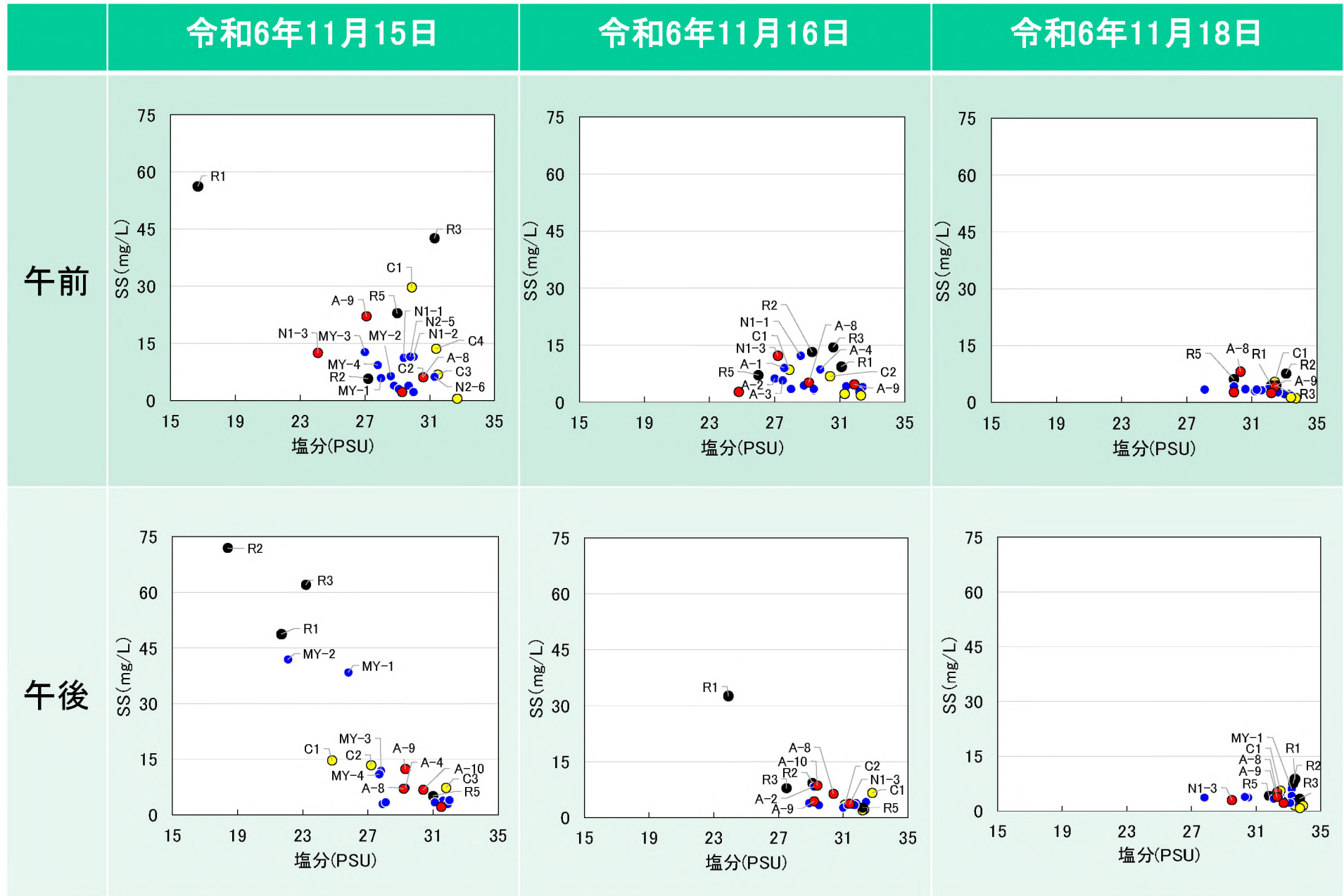
3. 大浦湾側における地点別の 換算SS最大値と塩分の関係

大浦湾側における地点別の換算SS最大値と塩分の関係(1/3)



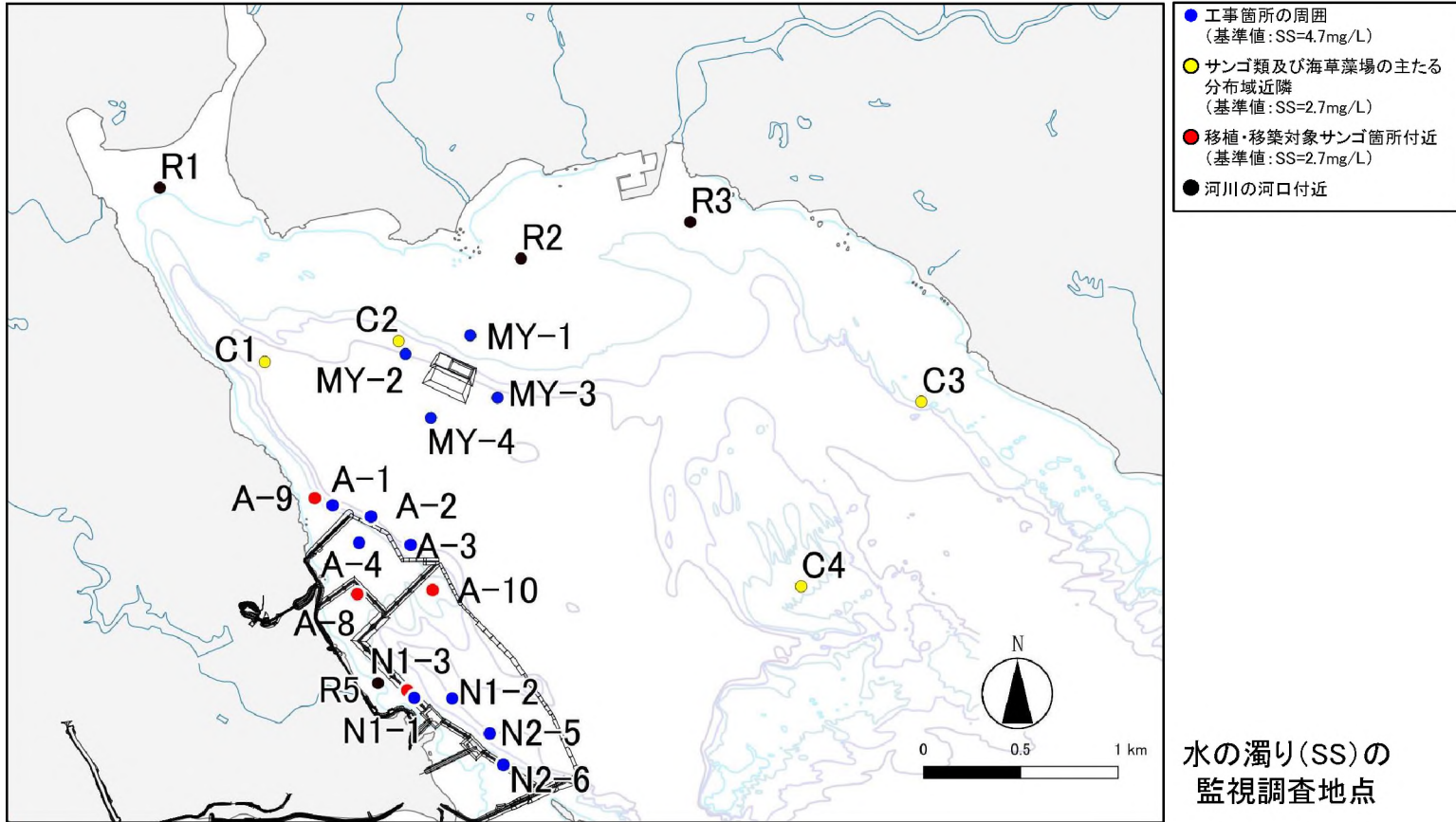
注) グラフ中の地点番号は、基準値を超過した地点及び河川の河口付近の地点(R)について表示。

大浦湾側における地点別の換算SS最大値と塩分の関係(2/3)



注) グラフ中の地点番号は、基準値を超過した地点及び河川の河口付近の地点(R)について表示。

大浦湾側における地点別の換算SS最大値と塩分の関係 (3/3)

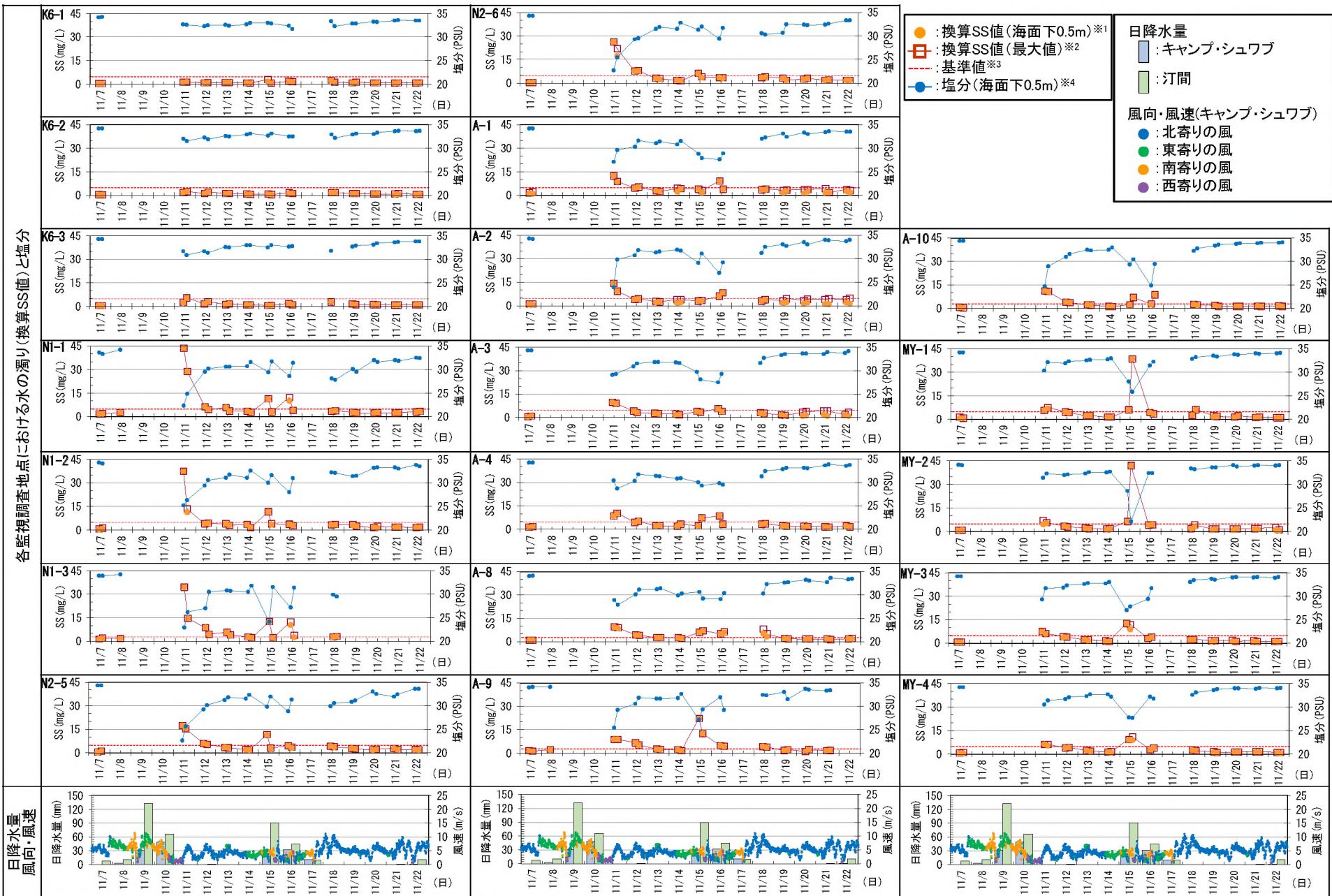


調査期間中の日降水量 (mm)



4. 顕著な大雨の前後における 水の濁り(換算SS値)と塩分の推移

令和6年11月7日～22日における水の濁り(換算SS値)と塩分の推移(1/2)(工事箇所所周圍、移植・移築対象サンゴ箇所付近)



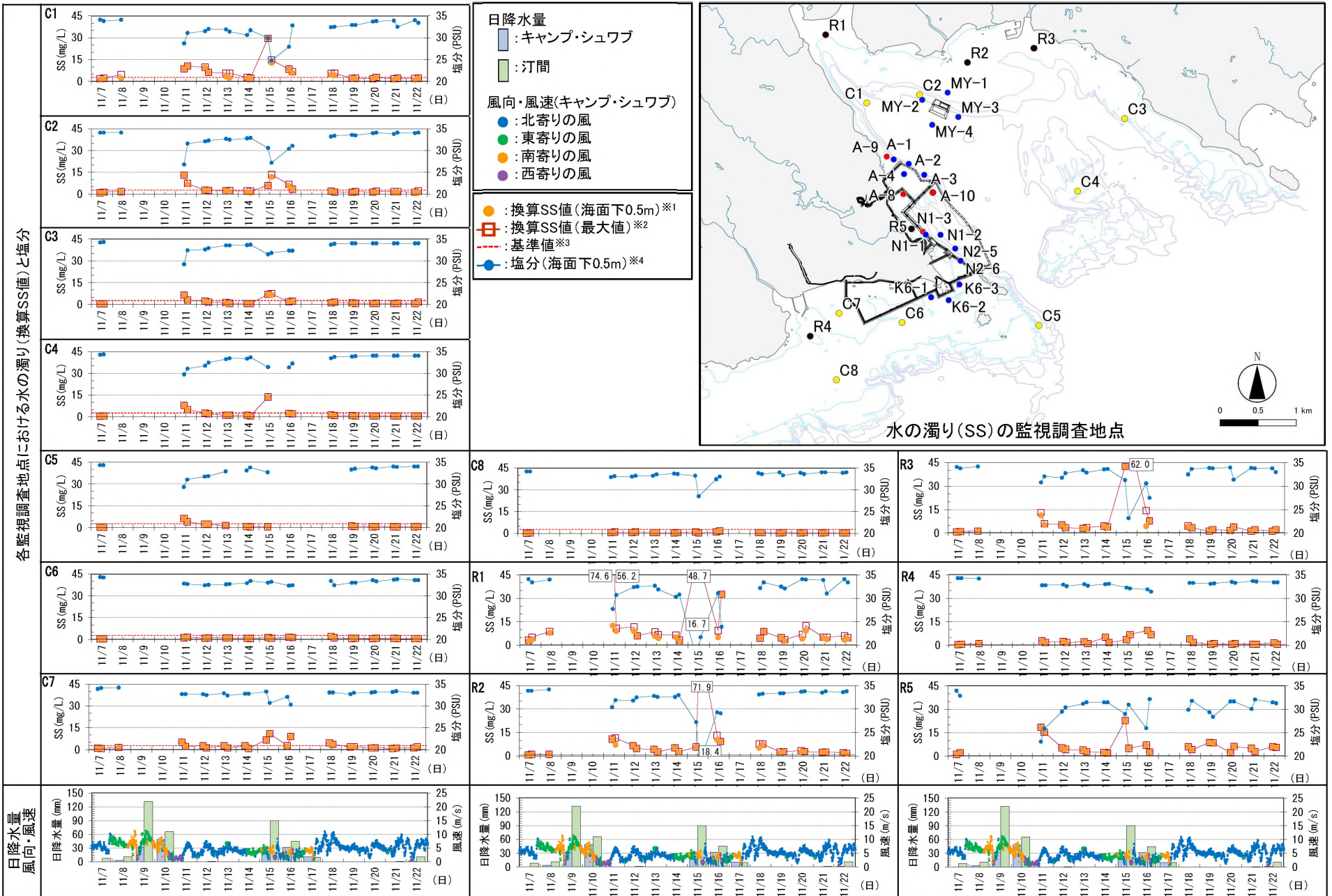
※1 換算SS値(海面下0.5m)は、海面下0.5m層の濁りの観測値をSSに換算した値(単位:mg/L)を示す。

※2 換算SS値(最大値)は、海面下0.5mから海底面上1mまで、1m間隔での濁りの鉛直測定から得られた観測値をSSに換算した値(単位:mg/L)の最大値を示す。

※3 基準値は、水の濁り(SS)の環境影響の判断基準(単位:mg/L)を示す。

※4 塩分(海面下0.5m)は、海面下0.5m層の塩分の値(単位:PSU)を示す。

■ 令和6年11月7日～22 日における水の濁り(換算SS値)と塩分の推移(2/2)(サンゴ類及び海草藻場の分布域近隣、河川の河口付近)



※1 換算SS値(海面下0.5m)は、海面下0.5m層の濁度の観測値をSSに換算した値(単位:mg/L)を示す。

※2 換算SS値(最大値)は、海面下0.5mから海底面上1mまで、1m間隔での濁度の鉛直測定から得られた観測値をSSに換算した値(単位:mg/L)の最大値を示す。

※3 基準値は、水の濁り(SS)の環境影響の判断基準(単位:mg/L)を示す。

※4 塩分(海面下0.5m)は、海面下0.5m層の塩分の値(単位:PSU)を示す。